



クロスCAFÉ

第13号

(発行日 平成28年4月吉日)

新メンバーを迎えました



八戸赤十字病院はフレッシュな新人を迎え、平成28年度が新しくスタートしました。院内各部署は、新人研修が順調に進んでおります。看護部も、新採用者研修担当者が中心に充実した研修が行われ、少しずつ新人の緊張感が和らいできたように感じます。看護部は、渡辺看護副部長（手術室・HCU兼務）を迎え、浅利、箱石看護副部長と4人で賑やかに、かつ、闊達に看護部を運営して参りたいと思っております。今年度は、新たに4月からHCUの（8床）稼働を控え、スタッフ一同張り切っております。急性期病院として、救急の受け入れから、患者様が「何処で、どの様に生活したいのか」共に考え、地域の皆様のお力を借りながら退院支援の充実を図りたいと考えております。看護師確保が課題となっている中で、働きやすい職場、誇りを持って働き続けられる職場環境を看護師の意見を参考に看護部一丸になり整えて参りたいと考えております。

医療・看護の質向上を目指し、看護師としての「生きがい」を支援できる様努力して参ります。



八戸赤十字病院 看護部長 細川牧子

第2回登録医・開業医の皆さまとの懇談会



平成28年2月27日、八戸グランドホテルにて開催いたしました。院外からは、53名の先生方がご出席くださり、院内からは医師・スタッフ含め52名が参加し、総勢105名の出席者による懇談会となりました。

当院から循環器内科部長・長沼医師が、循環器診療の現況と最近の話題に関する講演を行いました。また、地域医療連携課看護部長・川口は、地域医療連携課における看護師の役割や地域包括ケアについての講演を行いました。

お忙しい中、ご出席いただいた地域医療機関の先生方、ご協力ありがとうございました。今後とも地域のニーズにお応えできる地域医療支援病院として、より一層努力して参りたいと思います。



「あの日」から5年

～東日本大震災での緊急支援から復興に寄り添う～

2011年3月11日に発生した東日本大震災において、日本赤十字社は震災の発生直後から、医療救護班の派遣などの緊急支援から復興まで切れ目のない支援を行っております。これからも被災された地域の皆さまに寄り添ってまいります。活動に必要な資金をお寄せいただいたすべての皆さまに、心より感謝申し上げます。

当院では、災害救護を事業の一つとする赤十字病院として被災地へ救護班を派遣し、被災者や傷病者を救護しています。



日本赤十字社

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

八戸赤十字病院地域医療連携課だより クロスCAFÉ
 編集・発行 / 八戸赤十字病院 地域医療連携課
 〒039-1104 青森県八戸市大字田面木字中明戸2
 Tel 0178-27-3111 (代表) Fax 0178-27-8080 (直通)
 URL <http://www.hachinohe.jrc.or.jp/>

